診療科・対象疾患	外科・食道癌
プロトコール名	キイトルーダ+FP(5-FU+CDDP)21d
1コース日数	21日
催吐リスク分類	高度

薬剤名	投与量	day1	2	3	4	5	6	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
キイトルーダ注	200mg/body	●																			
シスプラチン注	80mg/㎡	●																			
フルオロウラシル注	800mg/㎡	●	●	●	●	●															

治療スケジュール

処方

(必要時)オランザピン錠(2.5)　2錠　1日1回　夕(day1、2、3、4)

※ 治療前日から翌々日まで、輸液負荷を行うこと
※ 1日尿量が3000mL以上になるように調整
※ 当日は測尿を行う
※ シスプラチンは最大6コースまで

Day1

生食　500mL
(ルート確保用)

100mL/h

生食 100mL
キイトルーダ注
200mg/body

30分

生食 50mL

15分

アロカリス注
235mg
パロノセトロン点滴
0.75mg
デキサート注 9.9mg

30分

生食 50mL

15分

フィルター付ルート使用
キイトルーダ投与中は生食を止める

20%マンニットール注
300mL

90分

生食 300mL
シスプラチン注
80mg/㎡

2時間

フィジオ140　500mL
(5-FUと同時投与)

生食 500mL
フルオロウラシル注
800mg/㎡

24時間持続

※ ***フィルター不可***

Day2-5

デキサート注 6.6mg

静注

フィジオ140　500mL
(5-FUと同時投与)

100mL/h

生食 500mL
フルオロウラシル注
800mg/㎡

24時間持続

フィジオ140　500mL
(5-FUと同時投与)

5時間